

2017年「存在感を示した」CU東京 2018年は「9条を守り」「99%の政治実現」の 草の根の運動を



12.7 全労連・東京地評争議支援総行動 左・日本HP前行動、右・第一興商前行動 記事は3面

秋の拡大では103人の組合員増やす

CU東京は、2017年、「9条を守り核のない社会」「8時間働けばふつうに暮らせる社会」を目指す「社会運動」と連帯し、職場における「個人の尊厳」と一人一人の要求に寄り添った、活動を強化しました。秋の「拡大の運動」では、100人を超える新加入者を迎え、「CU東京ここにあり」とその存在感を示しました。

社会の改革を目指し、「草の根の運動」強化を

2018年は、「戦争か平和か」「1%の政治か、99%の政治か」問われる年となります。CU東京は、大企業の内部留保が1年で21兆円も増え413兆円になる一方、非正規雇用は4割に達し「非正規雇用という形態でしか、新たな雇用機会を創出することができなくなった」、社会の改革を目指して、次の課題を重視して「草の根の運動」を強めます。

職場における一人一人の尊厳」を守り

第一に、①雇用の安定、②生活できる賃金、③社会的セーフティネットの確立です。その基礎となる

「職場における一人一人の尊厳」を守り、「時給1500円」「最低賃金の法制化」の運動を地域から進めます。

憲法は「たたかいの」よりどころ

第二に、9条改憲を許さない「3000万署名」の活動を強め、憲法が労働者・国民の「たたかいの」よりどころであり、未来を示す「羅針盤」となっていることを学習し、宣伝に取り組みます。

CU東京、当面1500人めざし

第三に、CU東京の力を強めるために当面1500人の組織をめざし、①「一人一人の権利を守る」CU東京に入って、「自分を守ろう」②CU東京の協力組合員になって、個人の尊厳を守る活動を支援しよう。の呼びかけを行います。

CU東京 現在 1156人

新しい年を最高の峰、1156人で迎えました。各支部みなさんの1年間のご奮闘に感謝します。今年も労働相談、組織拡大頑張りましょう。執行委員長小倉一男



2018年新春抱負を語る

支部委員長一言インタビュー



CU江戸川 山崎清さん

CU江戸川は28件の相談があり、11件解決。働く者の駆け込み寺としての役割を果たしている。働く環境が厳しい中「CU江戸川ここにあり」をさらに広げ活動を強めていきたい、そのためにも大会方針で確認した「150人の支部」を早期に実現したい。



CU中野 中村文康さん

中野支部は4月で、発足から満1年になります。今年は「1人も入れる組合」を強くアピールして、「数多くの組合員を迎えよう!」を目標に、大きく飛躍したいと思っています。『若い力』と『若い仲間』が増えるように、頑張ろう!



CU品川 池野隆さん

昨年9月の第8回大会で新委員長に選出されました。今年は、組合員を70名にしたい。組合員のつながりでの組織拡大めざす。昨年12月に柴又散策のレクも行いましたが、組合員の交流を大切に、未組織労働者の権利を守り、組織拡大に奮闘したい。



CU渋谷 伊藤栄江さん

昨年は、待望の「はたらくみんなの渋谷集会」を開催することができました。まさに地域が一つになったイベント。大成功でした。今年も地域と連携し、さまざまな運動に取り組み、CU渋谷支部を大きくいきたいと思っています。



CU三多摩 佐藤義見さん

CUの組織を三多摩に広げ2年半、働く者の権利が侵害される場面に次々と出会い、個人加盟組合の必要性を強く実感してきました。今年も頑張ろう!



CUみなと 池田孝治さん

団交の相手は外国人経営者や外資のIT企業、ホテル、プロダクション、ビル管理など港区らしいのですが、組合員の拡大に苦勞をしています。組合独自の行動・活動にも取り組み、組織強化に努力していきたいと思います。



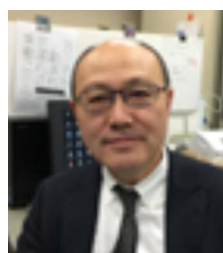
CU葛飾、野口弘次さん

地域の介護など中小企業で働く人の職場の悩みに応え「駆け込み寺」の役割を果たし、「期待」に応えました。この活動が秋の拡大に現れ4人の目標に8人加入。特に役員柳生さんの奮闘は目覚ましく、共済の良さ、労働相談を通じて5人増やしました。大会までに50人達成にあと一人。引きつづき頑張ります。



CUあだち 中島優次さん

組合の大切さを語っていくことが大切です。私の経験からも実感しています。CUあだちは小さい。もっともっと大きくしていきたい。頑張らしましょう。今度、釣りで大きなもの釣ってきます。大いに交流深めましょう。



ユニオンちよだ 渡辺典章さん

100名の組合を実現したい。そのため、労働相談の態勢をいっそう充実したものにしたい。組合員が参加したいと思うような組合活動を作り上げたい。せっかく千代田区を中心に活動しているのだから、千代田区ならではの企画を考えたい。



こうとう 新野好雄さん

「安倍働き方改革」によって「派遣切り」と「有期雇用労働者の雇止め」が横行しそうな気配です。また、改憲の動きが加速する可能性もあります。今年地域ユニオンの真価が求められる年。300人の組織めざして前進したいと考えています。

CU江戸川ここにあり役割果たす

CU江戸川第8回定期大会

相談11件の解決、2件の裁判など活動を強化

12月8日、CU江戸川支部は第7回定期大会を13人が参加し「江戸川区労連事務所」で開催しました。

山崎委員長は挨拶で「CU江戸川ここにありの役割果たしている、この組合をさらに大きくしたい」と訴えました。前回大会時96人から97人で大会を迎えました。この一年間の経過報告を宮澤書記長が行い「11件の解決、2件の裁判など活動を強化してきたこと、争議組合員の交流会、青年との学習交流、相談センターの会議」などの取り組みが報告されました。

早期に100人を達成し、150人の支部実現

方針では「早期に100人を達成し、150人の支部実現、相談活動の発展、学習の強化、会議の定例化、ニュースの発行」などが提起されました。平山本部副委員長、区労連副議長の宇田川から挨拶がありました。終了後、懇親会を行い全員が発言し交流を図りました。新役員は次の通りです。（右上に続く）

執行委員長、山崎清 書記長、宮澤罔寛 執行委員、細井力、三枝繁、新木輝代 会計監査、影山政行

組合は大切、早期に50人に

CUあだち第6回定期大会

区労連・CU共同で5回の宣伝行動

12月14日、東京土建足立支部会館で、第6回定期大会を13人の参加で開きました。中島委員長は組合の重要性を強調し、組合を大きくしていくことを呼びかけました。宮下副委員長が経過、労働相談活動を報告、館書記長が方針を提起、それぞれ拍手で確認されました。早期に50人、さらに100人の組合をめざすことを確認し閉会しました。

中島委員長の大漁の成果（釣果）で交流

大会後、中島委員長の釣りあげた魚をごちそうに交流を深めました。新役員は次の通りです。委員長・中島優次、副委員長・館幸雄、書記長・宮下武美、書記次長・川田正幸、会計・飯塚美智子、執行委員・益子今朝男・平田潤・滝口孝司・石神俊文・松原豊子・近沢富士子、会計監査・美濃山智子・石川直美

11.11組合員交流会開催

CU文京 ～文京はがきニュースより～

京急「みさきまぐろきっぷ」を使い、城ヶ島へ行きました。晴天に恵まれ9名が参加、普段会えない仲間と交流を深めました。快晴のもと海風に吹かれながら……爽快でした！まぐろ料理を堪能しつつの昼食歓談、和みました。城ヶ島灯台前広場での交流、色々な発見がありました。各自の「きっぷ」の活用法に、個性（人生?!）が表れていて面白かったです！【参加の坂本さん談】



12.7全労連・東京地評争議支援総行動

12月7日（木）全労連・東京地評争議支援総行動が取り組まれ、地域労組こうとうの組合員、日本ヒューレットパカード（HP）青木さんの解雇問題と第一興商関川さんのパワハラ・残業代未払い問題の早期解決を要請する社前行動を行いました。

日本HP前では、東京地評・阿久津常任幹事が主催者挨拶。弁護士鹿島弁護士、CU東京の平山副委員長、機関紙労組の柳沢副委員長が訴えました。平山副委員長は、大企業は社会的責任を果たすために青木さんを一刻も早く職場に戻すべきだ訴えました。日本HPは要請を受けようとしませんでした。上野駅の近くの、台東第一興商前は、全労連・川村常任幹事が主催者挨拶、弁護団の酒井弁護士に続き、CU東京高木書記長が「著名なカラオケ会社の第一興商が、従業員が安心して働けるような状況にならなければ社会に良い娯楽を提供出来ない。一刻も早く解決すべき」と訴えました。日の丸自動車交通労組の相楽副委員長が挨拶しました。翌日が裁判の弁論準備でしたが、田中総務部長が要請団の要請を受けました。（写真は1面）。

青木・関川争議報告集会

2018年2月1日（木）午後7時

亀戸文化センター

- ・弁護士報告
- ・激励・連帯挨拶
- ・青木さん・関川さん

CU品川レク 寅さん記念館と 山田洋次ミュージアム

「労働者はつらいよ」の葛飾柴又めぐり



12月17日
(日)に選挙で延期していたレクを行い、年末の忙しい

のに関わらず15名が参加。冬晴れの雲がない良い天気、10時半に「寅さんとさくら」の銅像がある柴又駅に集合、柴又に在住、品川に居た国労OBが案内。

「くるまや」や土産物屋をのぞき、柴又帝釈天(題経寺)へ。江戸時代創建の堂の彫刻は繊細でした。

草団子を食べながら楽しく交流

寅さん記念館は、「男はつらいよ」の世界にタイムスリップ、寅さんが「起て万国の労働者～」と歌ったり、「労働者諸君～」と吠えた「朝日印刷所」のセットが。山田洋次ミュージアム、「矢切の渡し」を見て、昼食交流会。池野新委員長の挨拶の後、お酒やビール、季節のランチ、草団子を食べながら、各自の近況などを出し合い、楽しく交流しました。CU品川書記長 佐藤 記

18国民春闘 総決起集会

- 1月30日(火) 杉並公会堂
- 会場18:15 開会19:00
安倍9条改憲・労働法制改憲NO t!
まともな賃上げと安定雇用で地域活性化!

主催=国民春闘共闘委員会/東京春闘共闘会議

ご案内 第30回記念多喜二祭

2月12日(月・祭日) 午後13:30開会

なかのゼロ大ホール

共謀罪・戦争法廃止、憲法9条改憲阻止!

講演 香山リカ・小池晃・荻野富士夫
朗読 津田恵一 うた 岸本力

主催 多喜二祭実行委員会 03-5382-3177

CU東京で前売り券扱っています

第26回東京労連女性センター定期大会に 参加して

CU三多摩の相談員 福田かづこ

第26回東京労連女性センター定期大会に参加しました。各団体から17人が発言。

パワハラ問題で発言

私はこの間のCU三多摩の相談活動を保育所におけるパワハラ問題、一般就労で働く障害者のパワハラ問題について発言。民間保育所は、待機児対策として社会福祉法人だけでなく個人も含め様々な経営主体が参入。現場は低賃金と慢性的な人手不足による劣悪な環境にあり、その上パワハラで精神的なダメージを受けている。一般就労の障害者へのパワハラも社会的な課題。障害者を「雇ってやっている」「最低賃金は適用しなくてもいい」の認識で、嫌がらせが行われている。

女性の悩みをともに闘う組合必要

終了後、私立学校の参加者が、「私立の幼稚園でもパワハラ問題がある。幼稚園からの相談があったら私教連にも連絡を」と声を掛けてきた。

どの職場でも長時間労働も含め女性の課題や悩みは共通と改めて認識した。未組織の職場は輪をかけている。女性の悩みを受止め共に闘う労働組合が必要で、一人でも入れる組合の存在を知らせる重要性を痛感した。

2017. 11. 26



【若い仲間の声】CU中野 牧野大志さん

ブラック社会で生きていくのが嫌で仲間とCU



中野を立ち上げ、8か月。勤務先の組合と二足のわらじ、月1回の宣伝活動に欠かさず参加。宣伝のたびに今求められている組合と実感。

新しい仲間も増えました。僕ら世代の子どもたちが大人になる頃には、誰も過労死させない世の中にしたい。

■新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。憲法問題、「働き方改革」が大きな課題。何としても守り、労働者の権利と地位向上です。■沖縄では米軍の事故が後を絶ちません。米軍は反省のかけらもなし。この分野でも力合わせていきます。■今年も組合の力、組織を大きくし要求を実現を目指します。